

地球温暖化防止実行計画

平成30年11月
エナテックス株式会社

6 基準年度(計画前年度)のCO2排出状況 (平成29年度)

※排出係数は、2013年度(平成25年度)に固定する。

燃料等区分	使用量	CO2 排出係数	CO2排出量 (kg-CO2)	CO2排出割合 (%)
電 気 (kwh)	45,692	0.63	28,786	33%
ガソリン (L)	11,516	2.32	26,717	30%
軽 油 (L)	9,831	2.58	25,364	29%
灯 油 (L)	3,029	2.49	7,542	9%
A重油 (L)	0	2.71	0	0%
都市ガス (m ³)	0	2.29	0	0%
液化天然ガスLPG(kg)	25	5.97	147	0%
			88,556	100%

7 事業の中で排出される温室効果ガスの主な排出原因

基本的には、事務所の空調と暖房、営業車の燃料が排出ガスの要因になっております。

8 CO2排出量削減目標

※削減対象は、上記6に記載する燃料等のエネルギー起源二酸化炭素排出量とします。

A CO2総排出量による目標設定 (原単位の場合は空欄)

区 分	西暦	西暦	西暦	西暦	西暦
	2018	2019	2020	2021	2022
CO2排出量 (kg-CO2)	86,785	85,014	83,243	81,472	79,701
対基準年度削減目標	2%	4%	6%	8%	10%

B 原単位によるCO2総排出量の目標設定 (原単位以外の場合は空欄)

区 分	西暦	西暦	西暦	西暦	西暦
	FALSE	FALSE	FALSE	FALSE	FALSE
CO2排出量 (kg-CO2)	FALSE	FALSE	FALSE	FALSE	FALSE
対基準年度削減目標	FALSE	FALSE	FALSE	FALSE	FALSE
原単位に用いた指標					
上記指標を設定した理由					

9 CO2排出量削減に向けての具体的な取組内容

電気: 本社社屋での冷暖房は基準温度に設定し効率の良い運転を行う。
社屋内証明は、随時LED化を図る。また、設備機器の更新を計画し
省エネ機器によるCO2削減を検討する。

軽油・ガソリン エコドライブを意識するとともに、空気圧を適正に保ち
省エネを図る。

10 その他の環境に関する取組

【廃棄物の排出削減】

2017年度(基準年)の排出量: (2,640) kg

通年取組事項

- ・廃棄物管理票(マニフェスト)の管理を徹底する。
- ・廃棄物の分別を細分化し、置き場所の整備を徹底する。

【紙の使用量削減】

2017年度(基準年)の使用量: (15,600) 枚

通年取組事項

- ・OA用紙の裏面を活用する。
- ・社内メールを活用しペーパーレス化を図る。
- ・ミスプリントを削減するためにリセットボタンを設定する。(複合機の更新)
- ・会議資料の簡素化を推進する。

【水の使用量削減】

2017年度(基準年)の使用量: (566) m³

通年取組事項

- ・手洗いのフラッシュバルブの調整による節水。

(環境保全活動の推進)

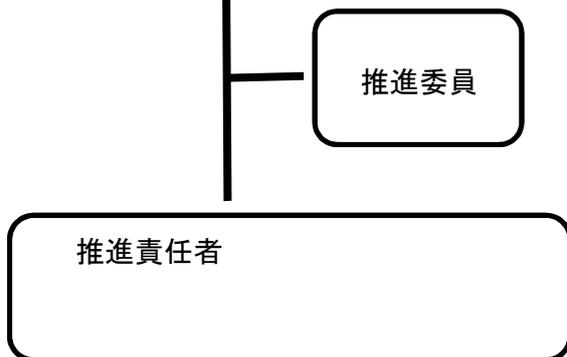
- ・社屋周辺の清掃活動を継続的に実施する。
- ・街並み環境緑化等の美化活動に積極的に参加する。

11 計画の推進体制および社員研修

(推進体制)

推進委員長 代表取締役 黒保 勝郎

管理責任者 管理部長 三尾 雄太



(社員研修)

環境教育は、管理責任者の策定した活動計画に基づき、年一回実施する。
教育内容は、内部監査教育、ISO14001規格に基づき、行うものとしている。